

|           |                 |  |  |
|-----------|-----------------|--|--|
| 法人(事業所)理念 |                 | 保護者の願い・主訴を受けて、根拠のある療育を推進し、個が様々な生活環境の中で自分らしい生き方ができることを目指す。  |  |
| 支援方針      |                 | 保護者や地域の関係諸機関との連携を密に行い、様々なアセスメントを活用し、十分に個を知った上で、チームで個に応じた支援方針や内容を検討し、支援を行っていく。  |  |
| 営業時間      |                 | 9時 30分から 17時 まで  | 送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |
|           |                 | 支 援 内 容  |  |
| 本人支援      | 健康・生活           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな習慣を知り、靴の始末や手洗いを自分でしようとする。</li> <li>・自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。</li> <li>・支援者にオムツを替えてもらったり、便器に座らせてもらったりすることに慣れる。</li> <li>・スケジュールを確認し、自分でトイレに行き、大人の手を借りずに排泄をすることができる。</li> <li>・スプーンや箸の正しい持ち方を知って、出来るようになる。</li> <li>・自分のスケジュールボードの確認を支援者と一緒にして、カードを持って移動ができる。</li> <li>・片付けの合図を聞いて、片付けをしようとする気持ちをもったり、行動がとれたりする。</li> </ul>                    |  |
|           | 運動・感覚           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなどの全身運動を楽しんで取り組む。</li> <li>・両足で跳ぶ、片足で立つ、片足ケンケンをする、這う、風船やボール遊びなど、周りの人たちの模倣をしながら思い切り体を動かして遊ぶ。</li> <li>・音楽・リズムに合わせた体の動きを楽しむ。</li> <li>・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。</li> <li>・プットインやプットアウト、ボタンの付け外しなど、手先指先を使った色々な課題に取り組む。</li> <li>・製作や感触遊びを自分なりの工夫をしながら十分楽しむことができる。</li> </ul>   |  |
|           | 認知・行動           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。</li> <li>・見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。</li> <li>・身近で自分の知っている物の絵カードの中から、指示された物を選んで支援者に手渡す。</li> <li>・三角クレパスや鉛筆で3点持ちをして、丸や線を描く。</li> <li>・形容詞や動詞を使った文を理解し、指差しや言葉の模倣をする。</li> <li>・いろいろな積み木や箱などを使って、支援者や友達と一緒にごっこ的な遊びを楽しむ。</li> <li>・文字や数字を読んだり書いたりして、出来ることを増やす。</li> <li>・製作活動の中で、ハサミや糊の適量使用など適切な使い方ができる。</li> </ul> |  |
|           | 言語<br>コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者との応答的な関わりの中で、うなずいたり、笑顔を返したりする。</li> <li>・自分の要求を伝えたいときは、「誰に」や「何を」を絵カードを使って知らせる方法を知り、自分の意思で相手に伝えることが出来るようにする。</li> <li>・しりとり、坊主めぐり、絵カード遊びなどに取り組みながら、人とのやりとりや、いろいろな言葉遊びを楽しむ。</li> <li>・個別や選んだ遊びの場を通し、支援者との信頼関係を築きながら、したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。</li> <li>・興味をもった遊びを自発的にしたり、関わりに必要な言葉を使って一緒に遊んだりする。</li> </ul>                          |  |

|  |             |  |             |  |
|--|-------------|--|-------------|--|
|  | 人間関係<br>社会性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・晴る日での場所や人に慣れ、自分の興味や関心が十分に満たされる遊びや活動を通し、自分なりの充実感や達成感を味わうことができる。</li> <li>・生活や遊びの中で、周りの幼児や支援者の様子を見て、真似をすることを楽しむ。</li> <li>・支援者を仲介して、友達の遊んでいる様子に関心をもつ。</li> <li>・困った時に「手伝って」や「もう1回言って」などの支援を求める言葉を知り、必要な時に使えるようになる。</li> <li>・自分が周りと関わって遊びたいと感じている欲求が支援者に理解され、必要な支援を受けることができる。</li> </ul> |             |  |
|  | 家族支援        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の困りごとや、願いをしっかりと聞いた上で支援計画を作成する。</li> <li>・6か月ごとに家庭・園での状況を掴み保護者とのモニタリングを行った上で支援計画の見直しを行う。</li> <li>・日常的に子育ての悩みをに傾聴し、具体的な家庭での関わり方について助言を行う。</li> <li>・関係機関と連携を重ね、その内容を保護者にその都度知らせ、情報を共有する。</li> </ul>  | 移行支援        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に当たっては、事業所での療育内容や、現在の課題、心配なことについてあらかじめ保護者と面談を行う。</li> <li>・お子様の困りごとについて、保護者が希望すれば了解を得た上で、細かく小学校担当者に伝えることで、スムーズな小学校生活がスタートできるようにする。</li> </ul>  |
|  | 地域支援・地域連携   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の了解を得て、在籍園を訪問し、療育内容の理解を得、支援計画の共通理解をさせていただく。</li> <li>・計画的に在籍園を訪問し、保育中の通所児の様子を見学したり、担任との情報共有の場の設定依頼をしたりなどする。</li> <li>・地域の愛育委員と連携し、就園前の子育て支援について悩みや課題を傾聴し、相談支援ができる場をもつ。</li> </ul>   | 職員の質の<br>向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週職員研修や通所児担当者会議等の時間を決めて取り組む。</li> <li>・研修内容は、発達障害の特性についての知識を持つとともに、特性に適した支援の内容について学ぶ。</li> <li>・個々の特性に合わせた支援の内容について事例検討を行う。</li> <li>・特性やアセスメント等の講義動画を視聴し、ディスカッションを行い、知識や内容を深めていく。</li> <li>・職員が積極的に自己研鑽の機会を得られるように、事業所として取り組む。</li> </ul> |
|  | 主な行事等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のカレンダーや季節の設営物などを製作週間に作り、持ち帰る。</li> <li>・事業所内夏祭り会をする。</li> <li>・ハロウィン遊びをする。</li> <li>・簡単な調理をし、クリスマス会をする。</li> <li>・鬼のお面を作り、豆まき会をする。</li> <li>・季節や天候に応じた公園遊びを定期的に行う。</li> </ul>  |             |  |